

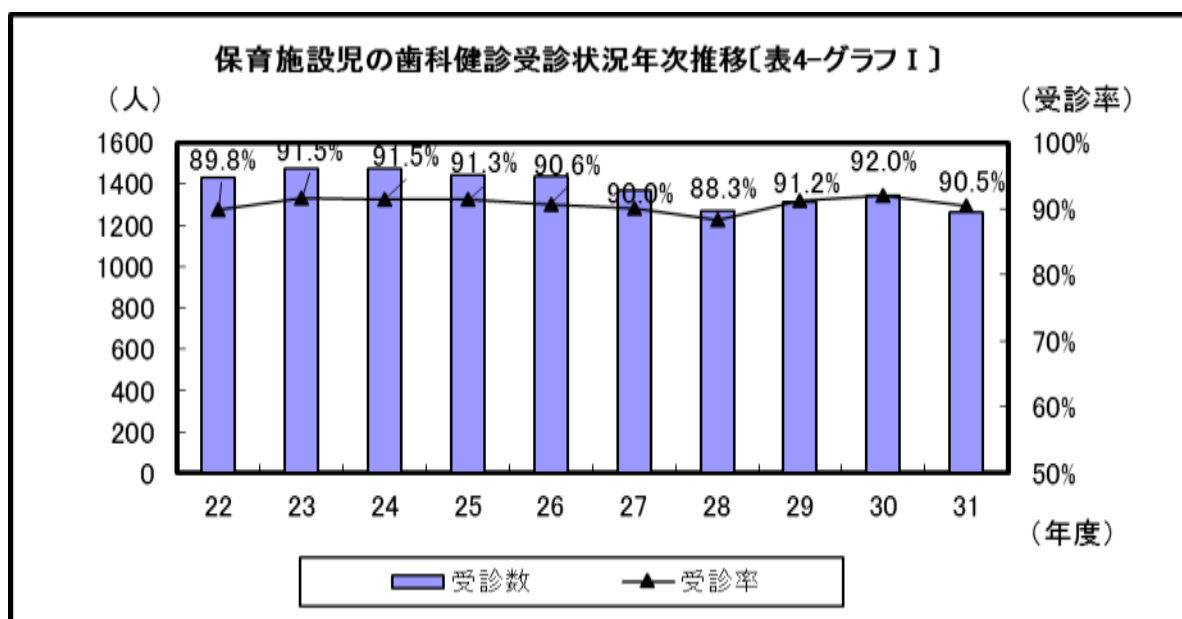
平成 31 年度（令和元年度）保育施設歯科健診・フッ化物歯面塗布・書面相談結果

（小樽市内保育施設歯科保健事業のまとめより抜粋）

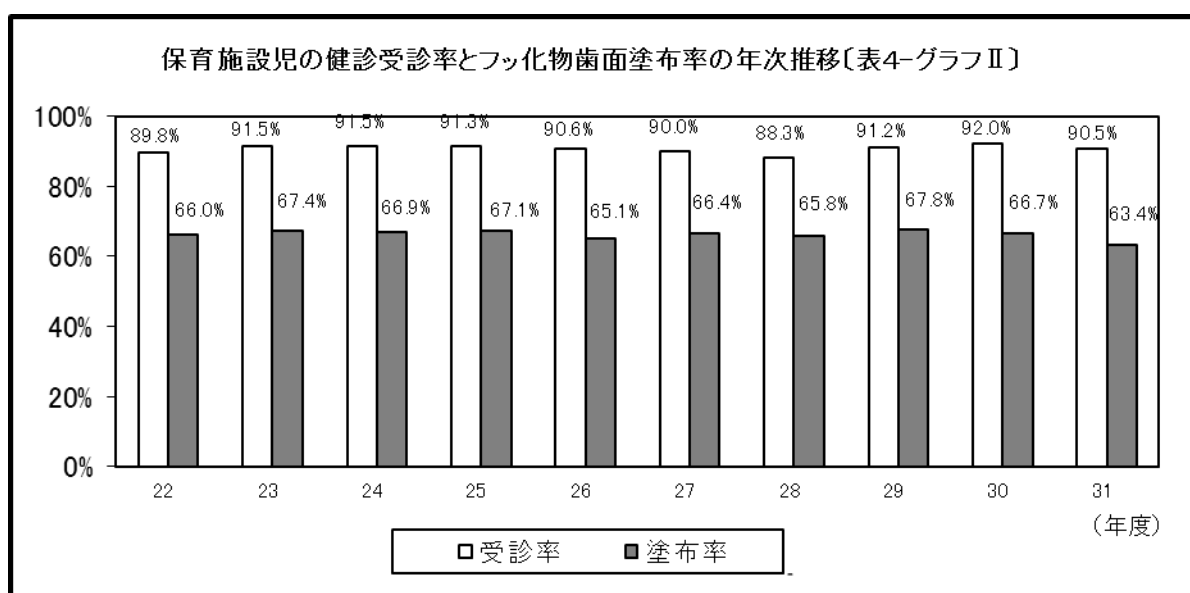


小樽市では、10人以上の入所児のいる保育施設からの求めに応じ、6月～9月までの期間に集中して、歯科健診、フッ化物歯面塗布、書面相談を実施しています。今年度は上記期間内では、27施設の保育施設に出向き実施し、1,260人（受診率90.5%）の児童が、歯科健診を受け、同時実施のフッ化物歯面塗布については、799人（塗布率63.4%）の児童が塗布を受けました。

◆ 保育施設児の歯科健診受診状況年次推移



◆ 保育施設児の歯科健診受診率とフッ化物歯面塗布率の年次推移



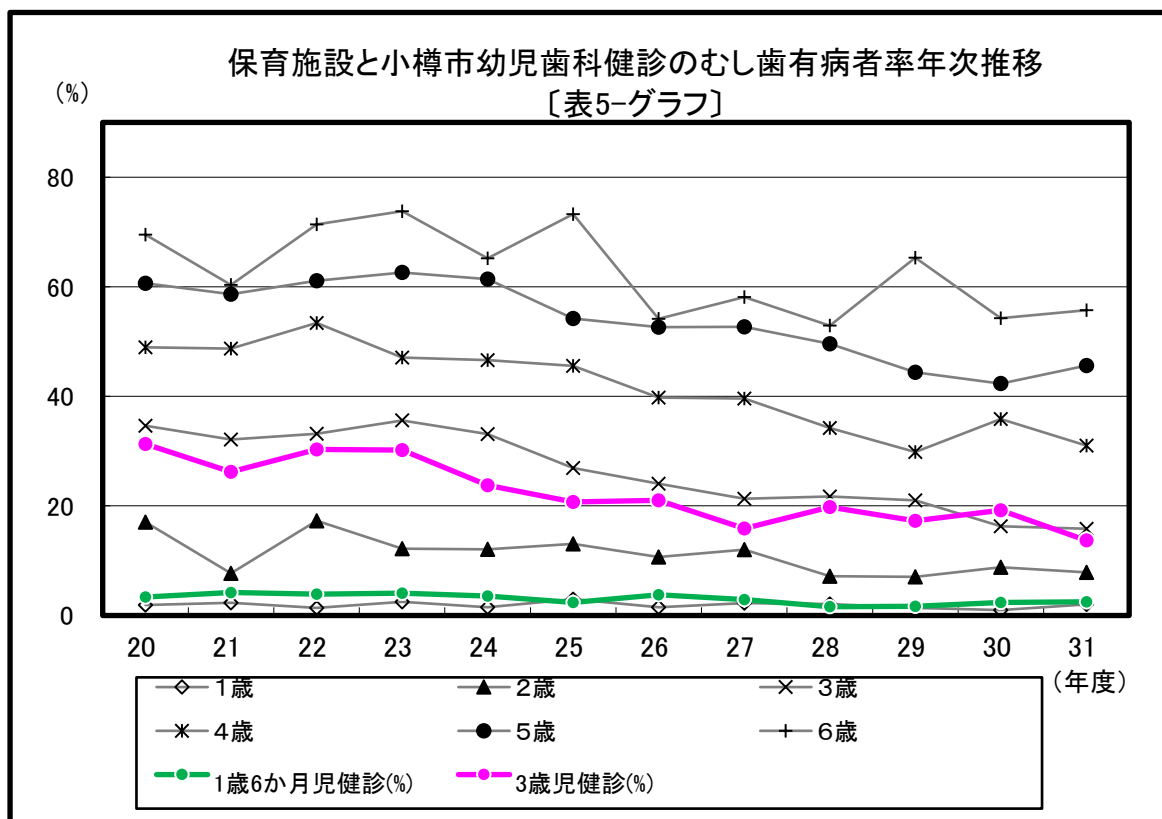
◆ 保育施設児のむし歯有病者率の年次推移



保育施設児と小樽市幼児歯科健診児のむし歯有病者率の年次推移（表）

年 年度	1歳 (%)	2歳 (%)	3歳 (%)	4歳 (%)	5歳 (%)	6歳 (%)	1歳6か月児健診 (%)	3歳児健診 (%)
20	1.9	17.1	34.6	48.9	60.7	69.5	3.4	31.3
21	2.3	7.7	32.1	48.7	58.7	60.4	4.2	26.2
22	1.4	17.3	33.2	53.4	61.1	71.4	3.9	30.3
23	2.5	12.2	35.6	47.1	62.6	73.8	4.1	30.2
24	1.5	12.1	33.1	46.6	61.4	65.2	3.6	23.8
25	3.0	13.1	27.0	45.6	54.2	73.2	2.4	20.7
26	1.5	10.7	24.0	39.8	52.6	54.2	3.8	21.0
27	2.2	12.0	21.3	39.6	52.7	58.1	2.9	15.9
28	2.1	7.2	21.7	34.2	49.6	52.9	1.6	19.8
29	1.4	7.1	21.0	29.8	44.4	65.3	1.7	17.3
30	1.0	8.8	16.3	35.9	42.3	54.3	2.4	19.2
31	2.0	7.9	15.8	31.0	45.6	55.7	2.5	13.7

(R 元年度法定健診は 9 月末現在の数値)



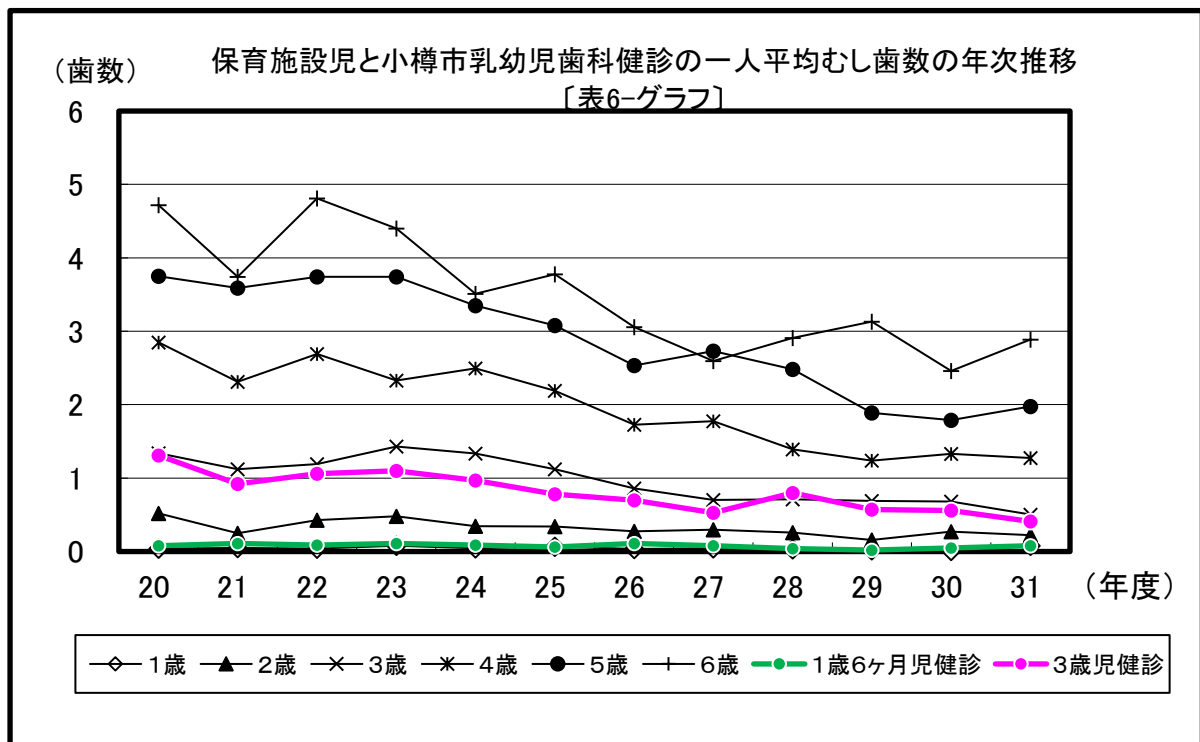
◆ 保育施設児の一人平均むし歯数の年次推移



保育施設児と小樽市幼児歯科健診児の一人平均むし歯数の年次推移（表）

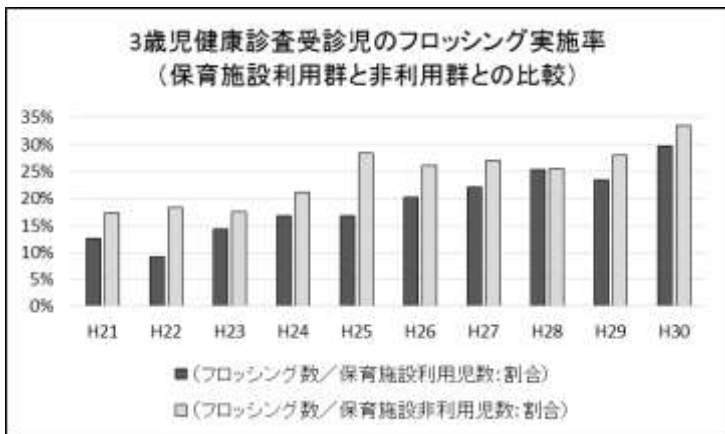
年 年度	1歳 (歯数)	2歳 (歯数)	3歳 (歯数)	4歳 (歯数)	5歳 (歯数)	6歳 (歯数)	1歳6ヶ月児健 診(歯数)	3歳児健診 (歯数)
20	0.04	0.52	1.34	2.85	3.75	4.72	0.08	1.31
21	0.05	0.25	1.12	2.31	3.59	3.74	0.11	0.92
22	0.04	0.43	1.19	2.69	3.74	4.81	0.09	1.06
23	0.08	0.48	1.43	2.33	3.74	4.40	0.11	1.10
24	0.04	0.34	1.33	2.49	3.35	3.51	0.09	0.97
25	0.06	0.34	1.12	2.19	3.08	3.77	0.06	0.78
26	0.04	0.28	0.86	1.73	2.53	3.06	0.11	0.70
27	0.04	0.30	0.70	1.78	2.73	2.59	0.08	0.53
28	0.03	0.26	0.71	1.39	2.48	2.91	0.04	0.80
29	0.02	0.16	0.69	1.24	1.89	3.13	0.02	0.57
30	0.01	0.27	0.68	1.33	1.79	2.46	0.05	0.56
31	0.08	0.22	0.50	1.28	1.98	2.89	0.08	0.41

(R元年度法定健診は、9月末現在の数値)



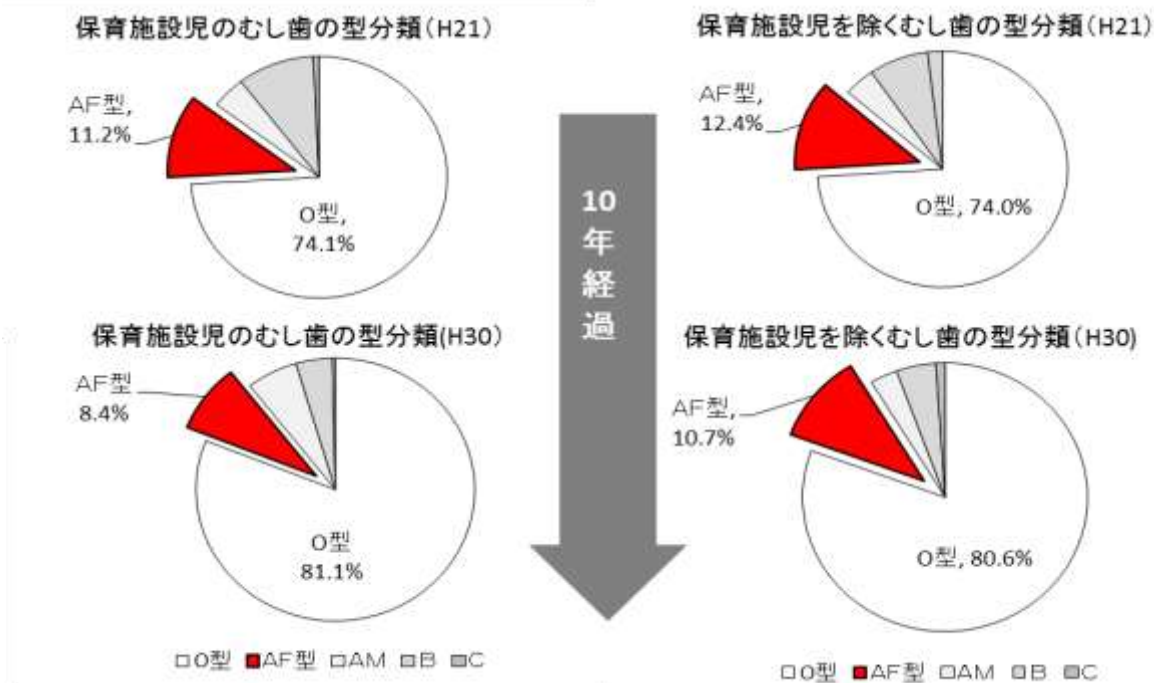
◆ 保育施設児の糸ようじ使用状況について(3歳児健康診査の結果より)

小樽市では、「第2次健康おたる21」(小樽市健康増進計画 H25-34年)の口腔領域の目標のひとつに、「むし歯のない3歳児を85%以上にする」を掲げていますが、むし歯の初発部位である「上の前歯のむし歯」を減らすための取組として、平成28年度から、保育施設の歯科健診時に上の前歯のリスク診断を行い、ハイリスクの児童の御家庭に、子供用フロスのサンプル及びフロッシングの必要性についての情報発信リーフレットを施設を通じて配布しています。



左のグラフは、市の3歳児健康診査受診結果を基に、保育施設利用児と非利用児の、ここ10年間のフロッシング(糸ようじ)実施割合を示したものです。
保育施設を利用されている家庭では、ここ4、5年間に、児の口腔ケアに、歯ブラシのほかに糸ようじも使う割合が増加してきました。

平成21年度当時の保育施設利用児とそれ以外の児のむし歯の無い割合(O型)は、どちらも74%でしたが、むし歯の内訳を見ると、保育施設児の「前歯のみのむし歯(AF型、軽症)」は、保育施設非利用児のそれと比べると1.2ポイント低い状態でした。



10年経過した平成30年度では、保育施設利用児のむし歯の無い割合は、81.1%、保育施設非利用児は80.6%と保育施設利用児のほうが、わずか0.5ポイントですが、むし歯のない児の割合が上回っています。
さらに、むし歯の型の内訳を見ると、保育施設児の「前歯のみのむし歯(AF型、軽症)」の割合は、10年前と比べると、8.4%(2.8ポイントの減少)で、保育施設非利用児の10.7%(1.7ポイントの減少)と比べると、保育施設利用児の方が、2.3ポイント「前歯のみのむし歯(AF型、軽症)」むし歯保有児が少ない結果でした。

◆ 保護者からの口腔に関する困りごと相談

歯科健診前に保護者からの書面による相談をお受けし、歯科健診後に書面にて回答しています。



書面相談の年次推移

(対象数は、相談票の配布数)

年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
対象数	1,607	1,609	1,565	1,582	1,518	1,440	1,439	1,460	1,392
実件数	270	284	258	315	283	308	300	301	284
%	16.8%	17.7%	16.5%	19.9%	18.6%	21.4%	20.8%	20.6%	20.4%

保護者からの相談割合(児の年齢別)

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	計
対象数	67	221	252	269	246	262	75	1,392
実件数	5	53	63	58	52	41	12	284
%	7.5%	24.0%	25.0%	21.6%	21.1%	15.6%	16.0%	20.4%

今年度は、2歳児の保護者からの相談割合(25.0%)が一番多い状況でした。

保護者からの相談割合(相談延数329件中の上位7項目の内容と占有率)

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	左記以外	合計
延件数	71	52	39	34	19	17	14	83	329
%	21.6%	15.8%	11.9%	10.3%	5.8%	5.2%	4.3%	25.2%	100%

- ① 歯磨き(フロス、歯ブラシ含む)やうがいのこと
- ② 歯並び、噛み合わせのこと
- ③ 歯の色、形態など
- ④ むし歯のこと
- ⑤ 歯の萌出、交換などのこと
- ⑥ 指しゃぶり、おしゃぶり等の習癖のこと
- ⑦ 治療のこと

